

岐阜県小児在宅医療実技講習会

準備のプロセスを含め、
県全体のチームづくり
にも貢献。

- ・岐阜大学障がい児者医療学寄附講座と連携し、医療従事者を対象とした実技講習会を開催。
- ・令和元年度は、医師、看護師向け実技講習会＋一般向け講演会の2段構成により開催。
講演会：県外医師による基調講演（2題）「病院（小児科）からみた小児在宅医療」、「子育て支援としての小児在宅医療」
講習会：県内の勤務医、開業医、看護師等を対象に、NPPVマスクフィッティング、気管カニューレ、胃瘻の交換方法など医療的ケアに関する実践的な講演、講義、実習等を実施

事業実施団体

岐阜大学（委託事業）

【令和元年度】

令和元年7月21日 岐阜県総合医療センター（岐阜市）

基調講演1：中村 知夫 国立成育医療研究センター総合診療部 診療部長
「病院（小児科）からみた小児在宅医療」

基調講演2：田中 総一郎 あおぞら診療所ほっこり仙台 院長
「子育て支援としての小児在宅医療」

参加者：＜第1部：講演会＞受講者142名（医師、看護師、福祉、教育関係者等）
＜第2部：実技講習会＞受講者78名（医師12名、看護師12名等）

【平成30年度】

平成30年7月22日 岐阜県総合医療センター（岐阜市）

基調講演：福富 悌 福富医院 院長

「医療からみた岐阜県特別支援学校の医療的ケアの歩みと今後の課題」

参加者：＜第1部：講演会＞受講者129名（医師、看護師、福祉、教育関係者等）
＜第2部：実技講習会＞受講者32名（医師16名、看護師16名）

